

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第43週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(指定感染症)の報告が1例あった(県内367例目)。年齢は40歳代で、県外の滞在歴があった。

全数報告の感染症(43週までに新たに届出のあったもの)

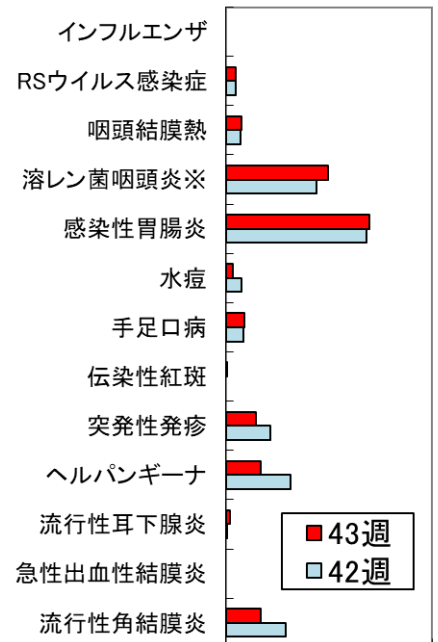
1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：日本紅斑熱1例。5類感染症：ウイルス性肝炎3例、急性脳炎2例、水痘(入院例)1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	30歳代	男	無症状病原体保有者	—
		延岡	60歳代	男	無症状病原体保有者	—
			60歳代	男	無症状病原体保有者	—
		高鍋	90歳代	男	肺結核	痰、発熱
4類	日本紅斑熱	都城	80歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	20歳代	男	B型	全身倦怠感
			30歳代	男	B型	全身倦怠感、食欲不振
			40歳代	男	B型	肝機能異常、下肢痛
	急性脳炎	都城	40歳代	女	病原体不明	発熱、頭痛、痙攣、髄液細胞数の増加
			60歳代	男	単純ヘルペスウイルス	発熱、頭痛、意識障害、髄液細胞数の増加
	水痘(入院例)	延岡	40歳代	男	臨床診断例	発熱、発疹

《前週との比較》

指定感染症(43週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	報告保健所	年齢群	性別	症状等
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	40歳代	男	発熱、咳、全身倦怠感



定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は260人(定点当たり7.8)で、前週比86%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は水痘とヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

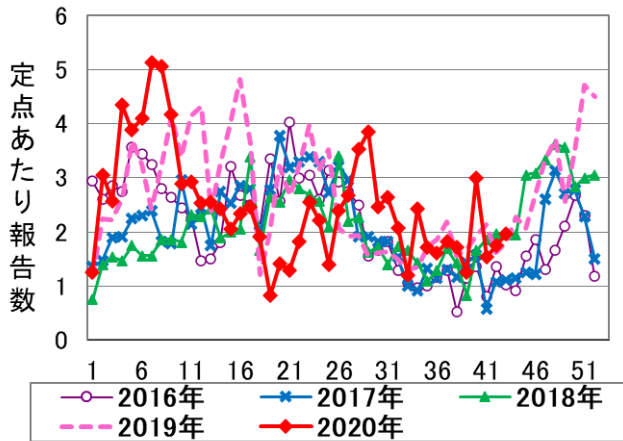
報告数は71人(2.0)で、前週比113%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.6)の約1.2倍であった。日南(7.0)、延岡(5.3)、宮崎市(1.6)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【ヘルパンギーナ】

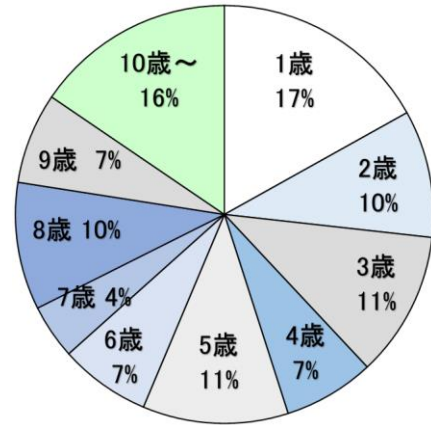
報告数は24人(0.7)で、前週比53%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(0.6)の約1.1倍であった。宮崎市(1.9)、都城(0.5)、延岡、高鍋(0.3)保健所からの報告で、年齢群別は1歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

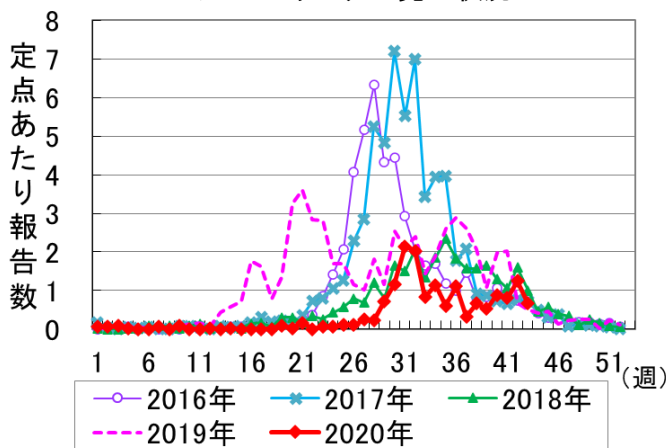
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



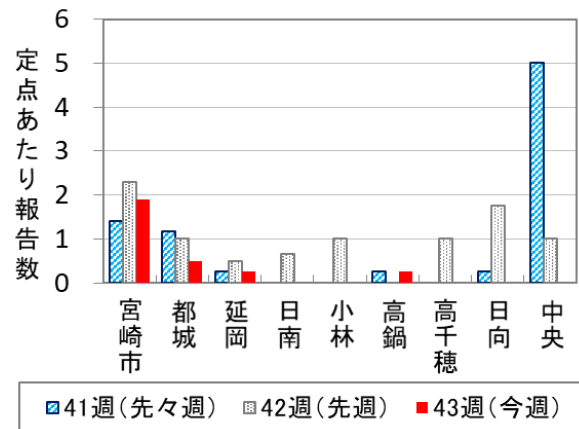
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 年齢群別割合



ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	水痘(1.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行注意報レベル基準値*
・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和2年10月26日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	40歳代	女	2020.9.29	無症状	便	2020.10.3
EHEC(OUT:H11 VT1)	60歳代	女	2020.9.30	無症状	便	2020.10.9
<i>Salmonella</i> Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	0~4歳	女	2020.10.2	胃腸炎(水様性下痢、血便)	便	2020.10.15

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
エコーウイルス9型	4~9歳	女	2020.6.20	エコーウイルス感染症疑い、38.4℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2020.10.16
エコーウイルス9型	0~4歳	女	2020.6.29	エコーウイルス感染症、38.2℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2020.10.16
エコーウイルス9型	4~9歳	男	2020.7.6	エコーウイルス感染症疑い、38.9℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2020.10.16
エコーウイルス9型	0~4歳	男	2020.7.13	エコーウイルス感染症疑い、37.9℃	咽頭ぬぐい液	2020.10.16
エコーウイルス9型	0~4歳	女	2020.7.25	急性気管支炎、下気道炎、38.6℃	鼻咽頭ぬぐい液	2020.10.16

○乳幼児5名からエコーウイルス9型が分離された。エコーウイルスは呼吸器症状や発疹の症状を呈することが多いが、髄膜炎を起こし重症化することもあるので注意が必要である。

🇯🇵 全国 2020 年第 42 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第42週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	255 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	74 例				
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	1 例	エキノкокクス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	日本紅斑熱	26 例	レジオネラ症	42 例
	レプトスピラ症	1 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	31 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例	後天性免疫不全症候群	15 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	14 例	水痘（入院例）	2 例
	梅毒	67 例	播種性クリプトкокクス症	4 例	破傷風	2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	8 例		

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 100%と横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱、水痘及び伝染性紅斑で、減少した主な疾患は特になかった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 2,371 人(0.8)で前週比 96%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(1.7)の約 0.4 倍であった。福岡県(2.4)、鳥取県(2.1)、宮崎県(1.8)からの報告が多く、年齢群別では 4 歳から 6 歳が全体の約 3 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 5,419 人(1.7)で前週比 100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(3.5)の約 0.5 倍であった。香川県(3.5)、大分県(3.3)、愛媛県、福岡県(3.2)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第43週(10月19日～10月25日)

疾病名	第42週	第43週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	7	7	5	1	1					
	定点当り	0.19	0.19	0.50	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	10	11	7	4						
	定点当り	0.28	0.31	0.70	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	63	71	16	4	21	21	3		6	
	定点当り	1.75	1.97	1.60	0.67	5.25	7.00	0.75	0.00	1.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	98	100	25	20		11	16	3	2	20
	定点当り	2.72	2.78	2.50	3.33	0.00	3.67	5.33	0.75	2.00	5.00
水痘	報告数	11	5	1		3		1			
	定点当り	0.31	0.14	0.10	0.00	0.00	1.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	12	13	1	10		1			1	
	定点当り	0.33	0.36	0.10	1.67	0.00	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数		1	1							
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	31	21	6	5	3	1	3	1	1	1
	定点当り	0.86	0.58	0.60	0.83	0.75	0.33	1.00	0.25	0.00	0.25
ヘルパンギーナ	報告数	45	24	19	3	1		1			
	定点当り	1.25	0.67	1.90	0.50	0.25	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	3	2						1	
	定点当り	0.03	0.08	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	7	4	2	1	1					
	定点当り	1.17	0.67	0.67	0.50	1.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数	1									
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～43週)

2類感染症	結核	132例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	22例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	6例
	つつが虫病	7例	日本紅斑熱	13例(1)
	レプトスピラ症	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	5例(3)
	急性脳炎	3例(2)	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	水痘(入院例)	9例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例
	破傷風	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	367例(1)	梅毒	22例
			百日咳	37例
			播種性クリプトコックス症	2例
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例

()内は今週届出分、再掲